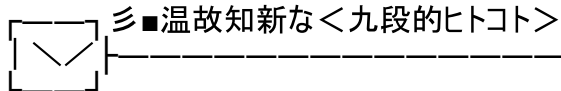


メールマガジン編集担当 沼辺 勇樹



冬があり夏があり 昼と夜があり
晴れた日と 雨の日があつて
ひとつの花が咲くように
悲しみも 苦しきもあつて
私が私になつてゆく

-星野富弘(詩人)

物事は比較対象があることで
より深く認識をすることができます。
右がなければ左はないように、
冬があるから夏があるように。

そして悲しみも苦しきも当然存在するもの。
それがあるからこそ幸せがあり、楽しみがあり、
私という花を咲かせることができる。
作者は体が不自由な方ですが、
それあったから今の幸せがあると、
心から思っているのだと思います。

メールマガジン編集担当 新井 良平



昔から荷物は多い方でしたが、
できる限り余分なものを持ち歩かない努力はしているつもりです。
高校の時は、分厚い英語の辞書や重い教科書は2冊ずつ持ち、
学校と家の両方に置いておきました。
(単に勉強熱心ではなかっただけです・・・)
大学の時は、分厚い六法や法規集を分解して、
必要な部分だけを持ち歩いていました。
(これもまた勉強熱心ではなかっただけなのですが・・・)

そして最近、読みたくて買ったはずなのに、
分厚くて重いため、家の中で眠っていた本が数冊に・・・
これでは無駄だと思い、大学時代に戻った気持ちで製本作業。
といっても、カッターでバラバラにするだけです。

バラバラにしてしまえば、今は、スキャンできるので、
モバイルで読書可能。
モバイルに取り込まなくても自分の好きな分量を持ち運べます。
高い本は最初は勇気がいりますが、
一度やってしまえば、読まざるを得なくなり、おススメです。

何のために買ったのかを考え、
飾っておくのか、どんな姿にしても自分の中に取り込むのか。
本質を考えるいいきっかけになりました。

メールマガジン編集責任者 矢合 真弓
